

2 地域夢プランのかたち

～取組の類型化～



地域資源巡り

地域の歴史上の名所や遺跡、自然などを対象に、参加者の関心や興味が高まるようなコースやテーマを設定します。地域資源を実際に訪れることで、参加者自身が、地域資源の概要や現状（位置、状況）をさまざまな角度から学習することができ、地域資源と触れ合う機会となります。

01 コース設定

参加者の年齢層や参加人数、テーマ、歩く距離など、さまざまな要素を踏まえたコースを設定することで、効率よく、楽しみながら地域資源を巡ることができます。

既存コースの活用

地域で日常的に親しまれている散歩道やウォーキング用に整備された遊歩道などを活用します。日常の身近なところに地域資源があることを実感できます。



新たに設定

地域資源の共通点や歴史的背景など学習するテーマや散策するテーマをあらかじめ決めておき、そのテーマに沿った地域資源を巡るコースを設定します。テーマ別のコースマップやパンフレットを作成することで、地域の特色がより分かるようになります。



複数のコースを設定

コース上の地域資源の種類や巡る箇所数、テーマ、距離などによって複数のコースを設定することで、参加者の体力や関心に合わせたコース選択が可能となります。



02 巡る対象

巡る地域資源は、神社や寺院、古墳、史跡などの歴史的なもの、祭りに代表される文化的なものや昔の面影が残る街道、景勝地などの自然が考えられます。対象の選び方を工夫することで、特徴ある地域資源巡りが行えます。

歴史・文化・街道

地域の歴史や文化に関する地域資源を巡り、地域の魅力を知ること、郷土愛が深まるきっかけとなります。地域資源と地域との関係を知ること、地域への理解も深まります。街道や巡礼道などの古道の活用も考えられます。



自然

地域の自然を巡ることで、今まで気づかなかった地域の魅力や地域における四季を感じることができます。地域の里山や遊歩道を活用することで、地域の美しい自然を散策しながら、健康増進も兼ねて地域資源を巡ることができます。

03 巡り方

地域の特色、参加者の興味や関心、年齢層なども踏まえて、地域資源巡りの目的が明確になるように巡る形式を考えます。郷土史研究家などによる案内や解説（ガイド）を行うことで、理解を深めることができます。

ガイド形式

郷土史研究家などによる案内や解説（ガイド）を取り入れると、地域資源への理解が一層深まります。さらに、地域資源巡りの事前や事後に、参加者（年齢層など）に合わせた学習会を行うことも考えられます。



特別公開

個人や神社、寺院等が所有する文化財は、一般に公開されていないことがあります。所有者の理解と協力を得て、特別に見学や拝観できる場合は、事前学習や郷土史研究家などに解説（ガイド）を依頼するなど、貴重な機会を有効に活用できるよう取り組まれています。



ウォークラリー形式



あらかじめ決められたコースを参加者が自分のペースで巡ります。コースマップや地域資源の解説資料の活用、コース上の地域資源に関連したクイズの出題などの工夫がされています。

スタンプラリー形式

コース上の地域資源をチェックポイントとして、スタンプを押しながら地域資源を巡ります。地域資源の図柄を入れたスタンプや地域資源の解説付きのスタンプ帳を作成することで、スタンプラリーに新たな魅力が加わります。また、完走時間を競うなどゲーム要素を取り入れることもあります。



フリー形式

参加者は、地域資源マップなどを参考にしながら、興味や関心がある地域資源を自由に巡ります。地域資源の学習会や地域イベントを同時開催するなど、他のイベントや地域の行事との組み合わせも考えられます。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりからこれまで～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の意義

3 地域夢プランのとりえ
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧



地域資源イベント

地域の歴史や文化、自然を活かしたイベントを通じて地域資源の周知と次世代への継承を行います。地域が一体となって開催準備に取り組むことで、地域の交流が深まり絆も強まります。

01 歴史・文化を活かしたイベント

地域の歴史や文化、伝統などを次世代に伝え、継承する機会となります。
地域の魅力を再認識する機会となり、地域住民の交流にも寄与します。

伝統行事・文化の観覧と体験

観覧イベント

地域の祭りなどの伝統行事や文化の観覧を通じて、地域の魅力を再認識するとともに次世代へ伝えることができます。また、新しい住民に地域を紹介する機会となり、新旧住民の交流が図られます。



体験イベント

地域の伝統行事や文化の体験を通じて、効果的に地域の伝統を次世代へ継承することができます。直接体験することで、地域の伝統への理解も深まります。



民俗(昔の遊びなどの継承)

先人たちから受け継いだ文化や風習などの民俗を次世代へ継承することができます。地域住民の交流の機会となり、地域の一体化にもつながります。



02 自然を活かしたイベント

地域で見られる四季折々の自然や地域特産の食材などを活用し、地域の魅力を再認識します。
自然や食材は、地域を問わず多くの方々の関心が高く、イベントには地域外からも参加者があります。

花 木

春の桜並木や秋の紅葉など地域で守り育てられている自然を活用することで、地域資源のすばらしさを再認識することができます。地域の新たな名所づくりのきっかけにもなります。



食 材

地域特産物のPR

地域の特産品の活用は、地域や特産品そのものの知名度の向上が期待できるため、地域や地域産業の活性化につながります。



地産地消の推進

地産地消をアピールするために、イベントで地元の野菜などの農水産物を積極的に活用します。地域ブランドの周知にも活用できます。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりからこれまで～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の意義

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

参加・体験型



地域資源研究

地域資源の学習や調査研究、保護・保全活動を通じて、郷土愛を育みます。

地域資源の魅力と価値を再認識し、地域が一体となって地域資源を次世代へ継承します。

01 学 習

地域の歴史、地域資源のいわれなどをテーマにした学習会を実施します。

講義形式や見学等を交えた体験形式など、テーマとなる地域資源の特性を踏まえて行います。

地域資源に関するテーマで学習会を開催します。地域夢プランで作成した地域資源に関する冊子や地域資源マップを教材に使用することもできます。学習後に、テーマとした地域資源を地域資源巡りとして訪れる場合があります。



02 調査研究

地域資源の歴史や実態を調査研究することで、地域の魅力を再認識します。

調査結果をまとめた記録誌や写真集などを作成される場合があります。

歴史・文化

地域の歴史や文化について、小中学生が郷土史学習の一環として行う研究や、郷土史研究家などの協力による本格的な研究などがあります。調査研究の成果を学習会などで公表し、広く地域住民に周知することも考えられます。



自 然



地域に生息する希少な動植物に関する調査研究や、河川の水質調査などが行われています。地域の動植物の生態や河川環境の実態を把握することで、地域の自然を大切にすることを育むことができます。

03 保護・保全

貴重な地域資源を未来へ守り伝えていくために、それらの保護・保全活動を行います。
地域全体で取り組むことで、地域住民が地域資源の価値を再認識することにつながります。

史 跡

昔の地域の状況を表し、歴史的価値を持つ地域資源を次世代へ継承します。地域資源の周辺環境を整えることで、環境の荒廃による地域資源の消滅を防ぎます。



自 然

地域の貴重な動植物を絶やさないために、地域が一体となって生息環境や植生環境の保全を行います。希少昆虫や川魚を育てて放流したり、花の栽培や植林なども行われています。



新たな名所づくり

花や草木の植栽や植樹を行い、育てます。従来から地域にあるものを活用する場合と、地域のシンボル樹などを新たに設定して活用する場合があります。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりからこれまで～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の意義

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧



地域資源講演会・発表会

地域資源に関する講演会・発表会を通じて、地域資源の魅力を発信します。
外部の専門家による講演だけでなく、地域住民が自ら発表を行うこともあります。

01 テーマ

地域資源をテーマにした講演会などを地域で開催することで、地域住民が地域資源の魅力を発信や地域資源を活かした地域づくりを考えるきっかけとなります。

地域資源

地域資源を講演会などのテーマに設定することで、地域住民が地域資源について深く知る機会を提供します。郷土史研究家や学識経験者などを招き、地域住民を交えて意見交換会を行うことで、地域資源への理解が深まります。



地域づくり

地域の将来あるべき姿や、地域の将来像をテーマに設定することで、地域住民が自分たちが住む地域の未来を考える機会となります。小中学生が地域の未来について発表を行う場合もあります。



02 講演者・発表者

講演会・発表会の開催目的に応じて、講演者・発表者を選びます。
学術的に知識を深める場合は外部の専門家を選び、郷土愛を深める場合は地域住民を選びます。

専門家・研究家

地域資源をより専門的に理解するために、郷土史研究家などによる講演会やフォーラムを開催します。



地域の有志

地域住民や地域出身の著名人による講演や発表を通じて、地域への理解と郷土愛を深めます。地域の団体からパネリストを招いたり、小中学生が地域に関する作文を発表するなど、地域が一体となって取り組まれている場合があります。





地域資源展示・鑑賞会

地域資源に関する展示や鑑賞会を通じて、地域資源の魅力を発信します。間近に接することで、地域の魅力の再認識や再確認につながり、地域資源への理解も深まります。

01 テーマ

地域住民の興味や関心を引き付けるテーマを設定することで、多くの地域住民の参加につながります。地域住民から展示品を公募することで、地域全体を巻き込むことができます。

文化財

文化財として広く知られているものを展示します。郷土史研究家などによる説明会の開催や説明資料を合わせて展示することで、歴史的価値の再認識につながります。



民芸品・古道具

地域に伝わる伝統工芸品や、近年ではあまり使われなくなった生活用具などを展示することで、当時の生活を知るとともに、先人の生活の知恵を次世代へ継承することができます。



写 真

地域資源

地域資源の写真を学校や公民館などに展示することで、普段とは異なる角度からの様相や四季折々の情景を一度に鑑賞したり、比較したりすることができます。



昔の風景

地域の過去と現在の写真を比較展示することで、若い世代は昔の姿を知る機会となり、当時を知る人との世代間交流にもつながります。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の意義

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

02 製作者

芸術家や地域住民など製作者に視点を当てた展示を行います。
展示品は、工芸品、絵画や写真などが中心となります。

芸術家

地域出身など地域にゆかりがある芸術家の作品展示は、芸術家の目線による地域の魅力を体感し、地域の新たな魅力の発見につながります。また、展示会に加えて、芸術家に関するパネル展や講演会を開催することもあります。



地域の有志

作品展

地域資源をテーマに地域住民が描いた絵画や写真を展示します。展示品の製作活動は、地域の魅力の再確認にもなります。



コンテスト(絵画や写真など)



コンテスト形式で展示会を開催します。地域資源や地域の将来像などをテーマに設定し、小中学生による絵画や作文コンクールなど、地域と学校が連携して取り組まれています。



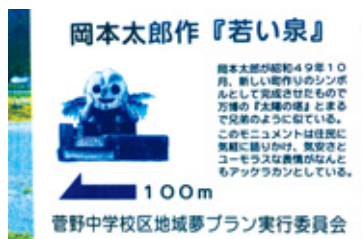
地域資源看板

地域資源や地域情報を掲載した看板を設置し、情報発信を行います。
地域住民への周知だけでなく、地域外向けの情報発信にも効果を発揮します。

01 案内

地域資源の所在地までの案内を行う看板です。
地域資源まで円滑に誘導できるよう方向や距離を表示しています。

地域資源が幹線道路沿いにない場合や建物に隠れるなどの理由で見つけにくい場合に有効な看板です。目に留まりやすいデザインや設置場所などを工夫されています。



02 解説・説明

地域資源の歴史的経緯、いわれなどのさまざまな情報を示すため、地域資源の魅力を周知することができます。内容が充実しているため、地域資源巡りにも活用できます。

地域資源の所在地において、地域資源の解説や説明を行う看板です。地域資源に隣接して設置されることが多いので、景観を損なわないように看板の形状や色使いなどを工夫されています。



石碑、記念碑



歴史上の出来事が起こった場所や建物跡などであることを示し、後世に伝えるために石碑や記念碑を設置します。地域の新たな名所を周知するために設置されたものもあります。



03 校区地図

地図上に、校区の代表的な地域資源の情報（所在地、写真、解説など）を示すことで、地域資源を周知するとともに校区の魅力を発信できます。

校区内の地域資源が一目で分かるようにイラストや写真を活用したり、看板自体にテーマタイトルをつけるなど、看板を見る人が関心や興味を持てるよう工夫されています。



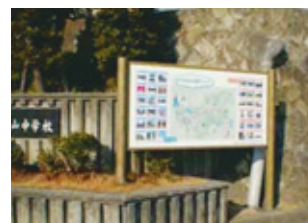
まちの玄関口に設置

まちの玄関口である駅前や地域内の観光地など、目に留まりやすい場所に設置することで、より多くの人に地域資源を周知することができます。



地域住民が集う場に設置

日頃から地域資源に親しんでもらうために、地域住民が利用する公民館など公共施設に隣接して設置します。小中学校に設置し、地域の歴史や文化などを学ぶ教材としても活用されています。



04 啓発・PR

地域夢プランを地域住民に周知し啓発するために、地域夢プランで設定した地域づくりのテーマや地域のキャッチフレーズの横断幕などを掲示します。

地域夢プランのテーマ等の横断幕や幟を、地域住民の目に触れる通学路や歩道橋に設置して、地域全体で地域夢プランの取組を共有できるよう取り組まれています。





地域資源冊子

地域の魅力や地域資源情報、地域夢プランの取組を、冊子やマップなどの印刷物にまとめます。編集を工夫することで、さまざまな用途に活用できます。

01 地域資源紹介

地域資源情報を冊子にまとめることで、地域資源を記録するとともに、存在を周知することができます。地域に配布するだけでなく、地域資源巡りや学習会における資料や教材としても活用できます。

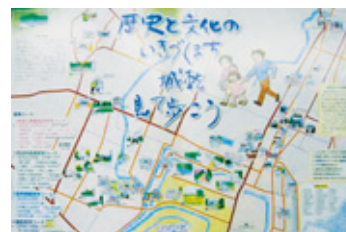
マップ

地図に地域資源の所在地とともに、写真や説明文を掲載します。地域資源の紹介だけでなく、街道や巡礼道など多種多様な要素を盛り込むことで、さまざまな用途に活用できます。



地域資源巡りのコース紹介あり

地域資源情報に加えて、地域資源巡りイベントのコースを掲載します。コースが周知されることで、日常の散歩コースとして定着すれば、地域資源がより身近なものになります。



パンフレット



地域資源情報に加えて、地域の魅力（観光地、郷土料理など）や観光コース、公共交通機関などを併せて掲載することで、観光やハイキングなど地域外からの来訪者用として活用されています。

カレンダー



地域の伝統行事、小中学校や公民館の行事などをまとめて、カレンダーに付記することで、1年間の地域の動きが分かる地域オリジナルカレンダーとして活用されています。

解説集・事典

地域資源情報をまとめた地域資源解説集（地域資源ガイド）は、学習会の資料や学校での教材として利用されています。地域内の地域資源を網羅するものや特定のテーマに沿って編集を行ったものなど、まとめ方を工夫されています。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりからこれまで～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ
(1) 「姫路市地域夢プラン」の意義
～検証と未来へのアプローチ～

3 地域夢プランのとりえ
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望
～検証と未来へのアプローチ～

4 地域資源の全リスト
(1) 地区からの情報発信
～地区ごとの主な地域資源～

4 地域資源の全リスト
(2) 地域資源一覧
～地区からの情報発信～

02 地域紹介

地域の歴史や文化など地域の魅力や特色を、写真やイラストなどを使って分かりやすく紹介します。冊子にまとめることで、地域の魅力や特色の再認識につながります。

歴史・文化

地域の歴史や文化、伝統行事、風習などについて、地域の成り立ちから現代に至るまでの変遷や移り変わりごとに分けて紹介します。地域住民が地域のことを学ぶ教材としても活用されています。



伝承・古写真

地域住民の協力を得て、地域に伝わる昔話や地域の昔と今が分かる写真などを冊子にまとめます。冊子にすることで、地域に眠っていた貴重な資料や写真を地域で共有することができます。



紹介・記録型



地域資源スライド・VTR

地域資源の情景、地域の伝統行事や祭りをデジタルデータとして記録します。地域資源の記録としてだけでなく、地域の学習会や学校での地域学習などの教材としても活用できます。

地域のすばらしい景色、伝統行事や祭りなどを、写真やビデオに記録して、分かりやすく地域の魅力を伝えるとともに、後世に伝え残すことができます。

